

あいち農産物生産流通レポート

平成25年8月号

情報サロン	
・「食育ネットあいち」でコラムを連載中！ ～食育のお役立ち情報を毎週お届け～ (食育推進課)	1
地域トピックス	
・共同選別機導入で輝くミニトマトブランド「旬桃輝」 ～JAあいち海部(愛西市)～ (海部農林水産事務所)	2
東日本情報	
・孀恋のキャベツ (東京事務所)	3
西日本情報	
・平成24年の地方卸売市場における青果物・花きの流通について (食育推進課)	5
フラワーページ	
・教育機関における花の癒やし効果の検証調査結果について (岐阜県立国際園芸アカデミー 井上 守)	7
青 果	
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し	10
花 き	
・切花・鉢花の8月の見通し(県内市場)	22
輸出入	
・主要農林水産物の輸出入実績(2013年5月)	26
関連指数	27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

「食育ネットあいち」でコラムを連載中！

～食育のお役立ち情報を毎週お届け～

愛知県では、県民に食の大切さを知ってもらい、食育の実践につなげていただくため、食育の基礎知識から参考事例、イベント情報や学習教材など、食に関するさまざまな情報を、ポータルサイト『食育ネットあいち』で紹介しています。

平成24年9月からは、トップページに**食育コラム欄「あったか いい知恵！」**を開設し、食育に関するお役立ち情報を週替わりで掲載しています。

県民の皆さんが、楽しんで食に関する知識や関心を深めていただき、食卓で話題にしていだけるよう、過去のコラムもすべてご覧いただけます。学校や家庭での食事の時間もきっと楽しくなると思います。ぜひご覧ください。

1 名称「あったか いい知恵」の由来

「あ」「い」「ち」の頭文字を入れ込んで親しみやすい名称としました。食に関するとおきの情報や、ほっと心の温まるいいお話を県民の皆さんにお届けし、学校や家庭での食事の時間が楽しくなるようにとの願いを込めました。普段の食生活に取り入れていただける情報や食材のあまり知られていない活用法など、すぐに役立つ知恵やヒントをお届けし、県民の皆さんの心と体を元気にしたいとの思いを込めました。

2 更新日

原則として毎週金曜日に更新します。

3 掲載テーマ

- ・食育イベントを取材したもの。
(あいちの農林水産フェア体験記)
- ・旬な話題、食材、レシピの紹介。
(ふき、きゅうり、イチジク、シラス、八丁味噌、名古屋コーチンなど)
- ・毎月19日(食育の日)にちなんだもの。
(「共食」のすすめ)
- ・行事食や郷土料理
(おせち、ひな祭り、端午の節句など)

コラム欄イメージ



4 アドレス

<http://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuiynet/>

5 その他

コラムのテーマにおすすめの食育情報やイベント情報がありましたら、食育推進課(電話：052-954-6396)までお知らせください。

共同選別機導入で輝くミニトマトブランド「旬桃輝」

～ JA あいち海部(愛西市)～

JA あいち海部が強い農業づくり交付金を活用しミニトマトの共同選果機を整備した。ミニトマトでは県下初の色彩選別カメラを装備した選果機で、共同出荷における品質の高位平準化と労力軽減を目的としている。

平成25年2月から稼働し、6月までの出荷実績は、3kg箱で9万8千ケース、前年同時期の実績に比べ4割増加した。販売金額は前年比115%にとどまったが、約1億4,300万円

の売上げがあった。高かった前年に比べると単価は下がった。期間の平均単価は486円/kg(前年比82%)であった。

生産者は7戸、40代が中心の若い産地で、計4.3haの近代的なハウスで生産されている。レンコンが特産の愛西市であるが、野菜の好みが変わるなか、若い世代がミニトマトに着目し、新しい農業経営を拡大しようとしている。

これまでの個選から共同選果への移行により、生産者宅で作業していた選別調製作業が選果場へ移ったことで、その労力を栽培管理へ振り向けることができるようになった。品質向上に力を注げることと規模拡大の可能性もでてきたと生産者は喜んでいる。

この選果機の稼働により、高品質ミニトマトオリジナルブランド「旬桃輝(しゅんとき)」が消費者に認知され、生産と出荷がバランス良く組み合わせられた産地へ育つと期待されている。



孀恋のキャベツ

冬の愛知、夏の群馬、キャベツ産地として日本一を争う2大産地です。ここ数年冬場のキャベツ相場は良好ですが、夏の相場は悲惨な状況が続いています。ちなみに25年産はますますで推移しています。(8月3日現在の東京青果販売価格80円/kg、昨年同日48円/kg) そんな中、群馬のキャベツ産地を訪れる機会がありましたのでレポートします。

群馬のキャベツ産地

有名だとは思いますが、群馬県のキャベツは、吾妻郡孀恋村で栽培されており、浅間山などの裾野のおおよそ見渡せる範囲にほぼかたまって栽培されています。その風景は北海道の富良野のように広大でどこまでも続くほどの規模で圧倒されます。また、気温は朝夕15 前後、日中も25 ほどで、寒暖の差が大きくおいしいキャベツができる条件が揃ったところです。

孀恋の今年の夏秋キャベツの計画作付面積は3,132ha(前年比97%)で昨年と比べるとやや減少していますが、5年前との比較では、ほぼ横ばいの作付面積となっています。また、昨年度の生産量は196,000t、生産額は110億円となっています。

今年の生育状況

今年作の定植作業も順調に進み7月末でほぼ終了したとのことでした。作柄も適度な降雨があり、結球肥大も順調にすすみ生育は良好で、平年作の102%の出荷を見込んでいます。



広大なキャベツ畑



生育は順調です

孀恋キャベツ栽培の特徴

孀恋では、右の写真のようにトラクターが入るブーム道（ブームスプレイヤーが通るため）と呼ばれる道がキャベツ畑にあり、畑に美しいコントラストを描いています。また、収穫はトラクターにアタッチメントで取り付けられた荷台に、畑で段ボールに詰めしたキャベツを積んで運びます。



2本の線はブームが通るブーム道

孀恋アピールポイント

毎年夏には、日本愛妻家協会が「キャベツ畑の中心で愛を叫ぶ（キャベチュー）」というイベントを開催しておりキャベツ畑には愛妻家が集まります。私が訪れたときも数組の愛妻家が愛妻の丘を訪れていました。

さわやかな孀恋高原、近くには草津温泉、伊香保温泉、万座温泉など温泉や白根山などの観光地もたくさんあります。暑いこの季節ぜひ一度訪れることをおすすめします。



農道の看板



愛妻の丘

平成24年の地方卸売市場における青果物・花きの流通について

青果物

平成24年の地方卸売市場の野菜取扱数量は16万5千tで、5年前と比べて3万2千t減少しました。野菜取扱高は314億円で、5年前と比べて16億円減少しました。

また、果実取扱数量は6万4千tで、5年前と比べて1万6千t減少しました。果実取扱高は153億円で、5年前と比べて40億円減少しました。

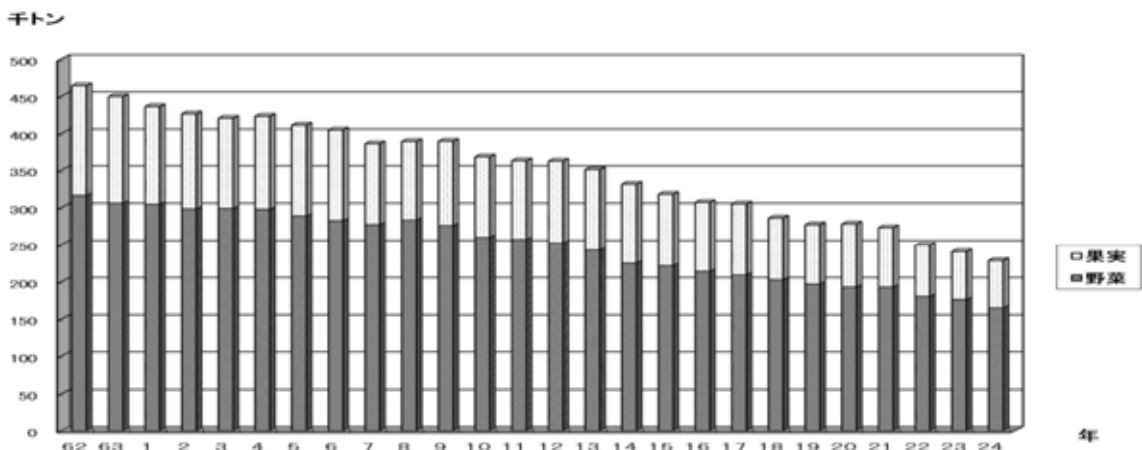
花き

平成24年の地方卸売市場の切花取扱数量は2億5千万本で、5年前と比べて7千2百万本減少しました。切花取扱高は135億円で、5年前と比べて32億円減少しました。

また、鉢物取扱数量は7千4百万鉢で、5年前と比べて1千万鉢減少しました。鉢物取扱高は134億円で、5年前と比べて26億円減少しました。

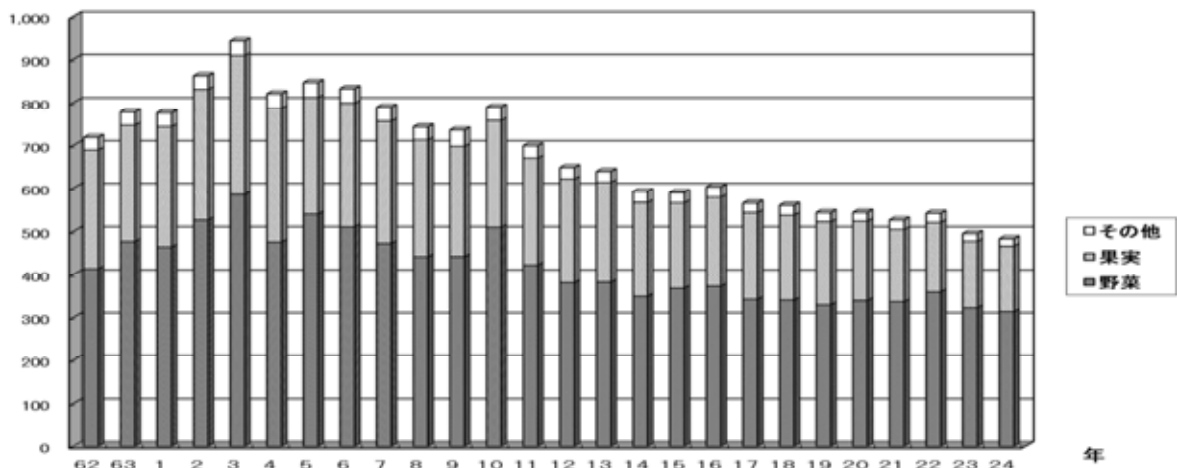
1 青果物の取扱実績

(取扱数量)



(取扱高)

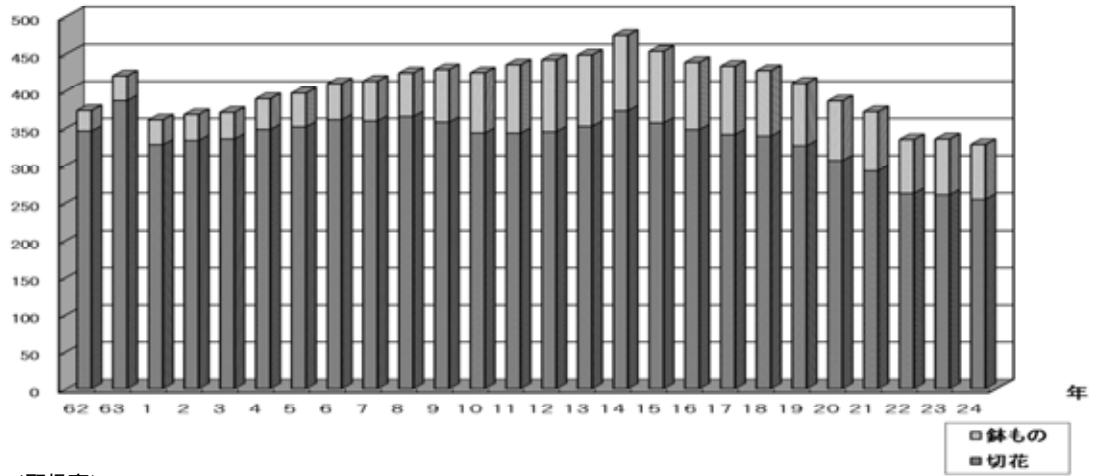
億円



2 花きの取扱実績

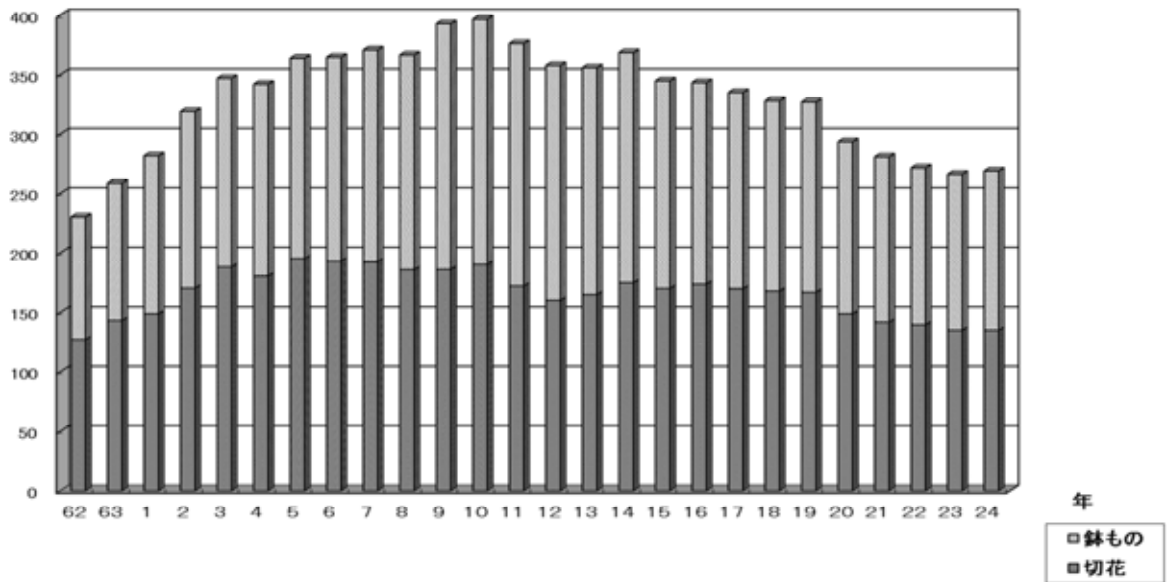
(取扱数量)

百万本、百万鉢



(取扱高)

億円



教育機関における花の癒やし効果の検証調査結果について

矢作中学プロジェクトの経過報告

「学校の教室に1年間、花や緑を絶やさなかったら、学校生活にどのような変化がおこるだろうか？」という非常に興味深いテーマに取り組んでいるのが、矢作中学プロジェクトです。

(1) 矢作中学プロジェクトの概要

この事業は東海地域花き普及振興協議会が岡崎市立矢作中学校の協力を得て、昨年12月からスタートしました。矢作中学校のすべての教室と保健室や職員室に月1回～2回花や緑を名前や特徴、管理方法などを記した管理カードと共に届け、先生の指導のもとそれぞれ楽しんでもらいます。

事業の最後の今年の11月には、生徒や教員に対するアンケートを行い、1年間教室に花や緑があることによって、学校生活にどのような変化あったのか調査します。

また、このアンケートには花や緑があることで生じたエピソード等も記入する欄があり、生徒と花や緑がどのように相互に関わっていたのかを多面的にアプローチします。

(2) プロジェクトの目的

プロジェクトの目的は教室に花や緑を置くことで、学校生活にどのような効果があったかを定性的に明らかにすることですが、長期的な目的としては次のような事があります。

- ・生徒が花や緑に触れ合うことで、花や緑を好きになってもらう
- ・それぞれの品目の性質や管理方法を知ってもらい、確固たる次世代の消費者を育てる。

納入実績と計画

2012年12月	鉢	シクラメン
2013年1月	切	ガーベラ
	鉢	カラコエ
2013年2月	切	バラ
	鉢	サイネリア
2013年3月	切	スイートピー
	鉢	ポトス
2013年4月	切	カーネーション
	鉢	ポトス
2013年5月	切	シャクヤク
2013年6月	切	アルストロメリア
	鉢	ハイドロ観葉
2013年7月	切	トルコキキョウ
2013年9月	切	マム(予定)
2013年10月	切	未定
	鉢	デンマークカクタス
2013年11月	切	未定
	鉢	未定

(3)プロジェクト経過報告

生徒たちは、次々とやってくる花を教室に飾り楽しんでいました。

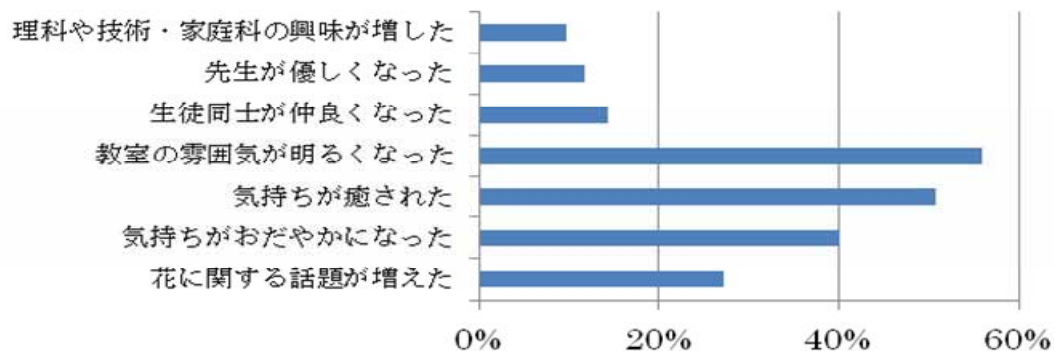
例えば、12月のシクラメンなどは、暖かい教室の窓際に管理するクラスもあれば、3年生は寒い北側の廊下（さらに廊下の窓際に置くクラスもありました）で管理していたようです。置く場所によってシクラメンの姿が大きく違うことに気がきました。



また、2月のバラ（イングリッシュローズ）は、ほとんどのクラスが1ヶ月以上楽しめて、最長で40日も楽しめたクラスもあったようで大いに盛り上がったとのことです。

下のグラフは今年の3月に卒業していった3年生の行ったアンケート調査です。プロジェクトを開始して間もなく卒業したため、花と触れ合う期間は少なかったですが、教室の雰囲気明るくなった、あるいは気持ちが癒されたと答えた生徒が半数以上を占め、短期間でも教室に花を置く効果がうかがえます。

Q 教室に花や緑を置くことによって、どのような変化がありました？



(4)おわりに

このプロジェクトを始めてすぐ感じたことは、一般の中学生において、ガーベラの花を見てその名前が「ガーベラ」と答えられる人の少なさでした。カランコエ、サイネリアなどはもっと知られていません。名前を知らないなら楽しみ方や育て方などは知る由もありません。ただ、花を楽しむだけでなく花の種類毎の特徴や楽しみ方を知ってこそ、その花の魅力を享受できるし、確固たる消費者になることにつながるのです。一般消費者に花をより身近にするこのプロジェクトにご理解とご協力お願い致します。

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋中央卸売市場（品目：巨峰）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
24年実績	1501	225 (15%)	804	869	長野 (66%) 山梨 (18%) 愛知 (15%)
25年見通し	1500	-	800	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>長野を中心に山梨、愛知などから入荷する。生育状況は、4月以降は暖かい日が続いたこともあり、3～5日程度平年より早い。また、例年と比べ色付きが悪く、着色不具合のある傾向。 入荷量、価格とも前年並みの見込み。</p>			<p>巨峰からシャインマスカットに生産を切り替える生産者が増えている 消費者は種なしで皮ごと食べられるものを好む傾向が続いているため、そういったものを子どもを中心に実際に食べてもらうことによって消費拡大を期待したい。 ぶどうは根強い人気があるので、糖度の乗ったものを出荷していただきたい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：いちじく）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
24年実績	313	156 (50%)	676	735	和歌山 (27%) 福岡 (9%) 埼玉 (4%)
25年見通し	320	-	650	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>ハウスものから露地ものへ切り替わる時期となる。愛知を中心に和歌山、福岡、静岡などから入荷する。今年は天候の影響もなく、各産地ともに高品質が見込まれる。愛知の露地は上旬からはじまり20日過ぎからピーク。和歌山は品質良好で、盆過ぎにピークとなる。福岡は作付けが増えており、入荷も増える見込み。入荷量は前年並みで価格は前年をやや下回ると見込まれる。</p>			<p>夏から秋の果物として定着している。本県産地は、数量・品質ともにトップレベルにあり、量販店からも支持されている。他産地も量品質ともに上がってきている中でトップブランドとして、品質管理や等階級別の選果に努めてほしい。商品の特性として傷みがやすいので検品をしっかりとってほしい。 生産者の高齢化等により生産規模が縮小しているが、生産規模の維持・拡大し産地維持をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の8月の見通し

名古屋市中央卸売市場

7月16日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	20年	34,757	184	203	193	159	北海道 31%
	21年	32,613	237	228	254	231	長野 22%
	22年	32,432	228	225	231	228	群馬 11%
	23年	33,421	202	209	203	200	青森 5%
	24年	32,547	185	178	189	192	
	計	5ヵ年平均	33,154	207	-	-	-
25年見通し	32,900	203	-	-	-		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は北海道、長野。生育が遅れ気味のものがあるが、まずまず順調。ただ今後も天候が大きく左右してくると思われる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。							
だいこん	20年	2,110	84	89	96	73	北海道 70%
	21年	2,008	120	116	139	111	青森 17%
	22年	1,634	105	84	108	122	岐阜 12%
	23年	2,112	69	76	59	78	長野 1%
	24年	1,891	73	69	72	84	
	計	5ヵ年平均	1,951	90	87	94	92
25年見通し	1,900	80	80	80	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は北海道、青森、岐阜。北海道は出荷のピークとなり、数量的には増えそう。ただ、猛暑が続けば値動きは悪くなる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。							
にんじん	20年	2,407	103	86	102	120	北海道 89%
	21年	2,533	156	152	165	152	青森 10%
	22年	1,740	216	218	207	220	中国 1%
	23年	2,006	130	131	129	133	千葉 0%
	24年	2,119	92	95	90	95	
	計	5ヵ年平均	2,161	136	133	136	141
25年見通し	2,000	110	130	110	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は北海道、青森。北海道からの出荷が本格的に始まり、8月中下旬がピークとなる見通し。帯広を除く地域で5~10日程生育は遅れ気味。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

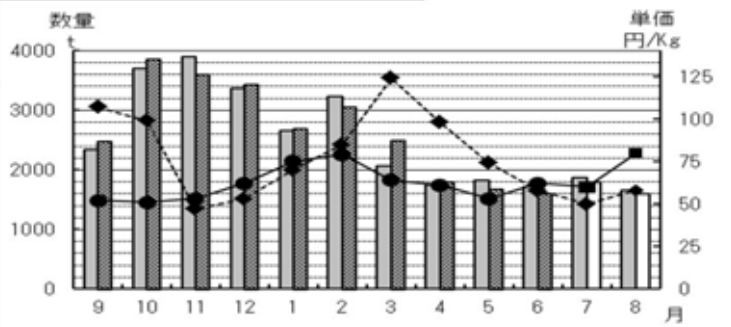
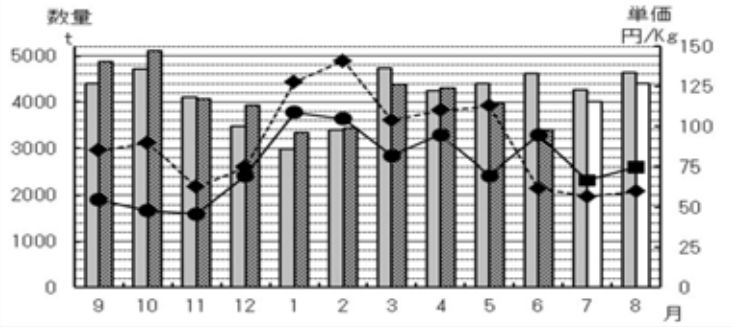
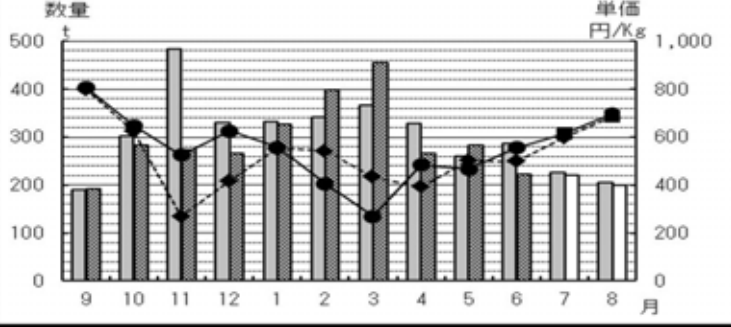
7月25日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	20年	127,676	210	190	200	216	北海道 23%
	21年	122,784	254	246	269	248	群馬 15%
	22年	122,709	245	234	250	249	長野 13%
	23年	126,666	219	218	211	226	青森 7%
	24年	130,732	191	192	197	186	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	126,113	223	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	124,000	225	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
関東高冷地に加えて、東北、北海道からの入荷が中心となる。これまで、東北以北は春先から天候不順が続いており、ここにかけても曇雨天が続くなど8月前半までは全般的な品薄傾向となる見込み。総体では、入荷量は前年をやや下回り、価格は安値の前年を大幅に上回る。							
だいこ	20年	10,363	83	86	94	73	北海道 72%
	21年	9,667	112	112	124	104	青森 20%
	22年	9,162	100	79	106	114	岩手 6%
	23年	10,916	70	69	65	74	群馬 2%
	24年	9,800	68	57	70	75	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	9,837	86	81	92	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	9,400	75	75	75	75	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道、東北産地中心の入荷となる。北海道は地域によっても違いはあるが、一部高温障害が散見される。また、作付減もあり総じて少ない。青森も遅れての生育だが今後の天候次第。 全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
にんじん	20年	6,288	111	95	114	120	北海道 84%
	21年	6,452	159	158	168	152	青森 13%
	22年	5,488	206	203	200	213	中国 2%
	23年	6,614	121	116	121	126	千葉 1%
	24年	7,098	96	98	96	94	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	6,388	136	134	140	141	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	6,400	135	130	140	135	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道からの入荷が中心となる。北海道は道東での春先からの低温、干ばつの影響で、播種時期が大幅に遅れたこともあり作柄は芳しくない。特に月前半は品薄感が強まることが予想される。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	20年	2,148	82	70	80	96	長野 96% 北海道 4% 群馬 0%
	21年	1,768	99	79	90	122	
	22年	1,704	101	79	102	120	
	23年	2,062	55	55	60	64	
	24年	1,659	58	60	73	53	
	5ヵ年平均	1,868	78	68	80	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	1,600	80	70	80	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主要産地は長野。一部北海道からも入荷する。産地は、猛暑の影響でB級品が多くなっている。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
キャベツ	20年	4,141	66	66	67	65	群馬 69% 長野 17% 北海道 11%
	21年	3,887	93	73	96	110	
	22年	3,903	89	94	88	86	
	23年	4,333	62	59	53	78	
	24年	4,638	60	57	72	58	
	5ヵ年平均	4,180	73	69	75	78	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	4,400	75	70	80	75		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主な産地は群馬、長野、北海道。昨年は群馬は大豊作であったが、今年は低温等により、生育が遅れている。現在は平年並みに落ち着いたものの、暑さ、豪雨等による病気の発生が懸念されている。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
ほうれんそう	20年	190	816	736	792	902	岐阜 90% 長野 5% 静岡 1% 茨城 1%
	21年	239	724	662	811	714	
	22年	184	783	815	765	775	
	23年	217	633	640	545	723	
	24年	206	687	645	716	695	
	5ヵ年平均	207	725	695	725	757	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	200	700	650	700	750		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>岐阜からの入荷が中心となる。一部長野。高温、干ばつの影響を受け、生育状況はやや悪い。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	20年	5,658	72	55	66	91	長野 88%
	21年	5,250	91	68	83	117	群馬 6%
	22年	5,891	94	70	96	113	北海道 4%
	23年	6,482	56	52	55	61	茨城 2%
	24年	5,682	59	57	76	50	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	5,793	74	60	75	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し		6,400	60	55	60	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		前月に引き続き長野からの入荷が中心となる。長野の作柄は一部で高温干ばつの影響が残り高冷地を中心に作柄は不安定である。入荷量は前年をかなり上回り、価格はこのところ一般需要、業務需要とも引き合いが弱いことから前年をわずかに上回るものの安値の展開が予想される。					
		<p>数量 t / 単価 円/Kg</p>					
キャベツ	20年	15,246	62	60	65	60	群馬 73%
	21年	15,689	90	67	94	107	岩手 18%
	22年	15,243	88	91	88	84	北海道 5%
	23年	16,619	60	56	50	74	長野 3%
	24年	15,491	54	48	67	51	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	15,658	71	64	71	75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し		14,000	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		群馬中心に岩手、北海道からの入荷が主力となる。群馬は目立った病害もなく作柄は概ね良好で平年並の出荷が見込まれる。岩手は遅れがあり少なめの出荷となる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。					
		<p>数量 t / 単価 円/Kg</p>					
ほうれんそう	20年	839	714	660	767	716	栃木 28%
	21年	966	632	594	666	639	群馬 27%
	22年	674	840	779	899	839	茨城 13%
	23年	827	617	568	562	723	岩手 13%
	24年	800	613	561	668	619	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	821	676	632	712	707	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し		800	620	620	620	620	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		関東高冷地と岩手からの入荷となる。群馬は生育遅れが回復し安定的な出荷が見込まれる。岩手は、曇雨天、低温が続いたことから生育は停滞気味。その他産地は平年並の出荷となる見込み。入荷量は前年並となり、価格についても安かった前年並となる見込み。					
		<p>数量 t / 単価 円/Kg</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	20年	888	402	353	418	431	北海道 27%
	21年	947	426	402	476	413	愛知 18%
	22年	863	422	439	443	390	茨城 9%
	23年	791	353	320	358	404	中国 8%
	24年	835	347	342	378	346	
	5ヵ年平均	865	392	373	417	398	
	25年見通し	850	350	300	350	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		主な産地は北海道、愛知。7月の猛暑により、どの産地も干ばつによる根の傷みが予想される。集中豪雨による病気の発生も懸念される。 入荷量・価格とも前年並みの見込み。					
しそ	20年	2,180	143	121	145	160	長野 99%
	21年	2,000	233	182	279	243	愛知 1%
	22年	2,045	221	211	224	226	群馬 0%
	23年	2,072	176	131	186	236	茨城 0%
	24年	2,429	126	135	135	131	
	5ヵ年平均	2,145	177	155	191	196	
	25年見通し	2,200	150	140	150	160	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		主要産地は長野。天候の崩れさえなければ、順調な出荷が見込まれる。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。					
きゅうり	20年	1,529	285	210	231	432	長野 51%
	21年	1,443	310	284	322	323	北海道 16%
	22年	1,520	272	166	233	276	岩手 8%
	23年	1,545	275	261	205	394	山梨 7%
	24年	1,570	227	216	218	252	
	5ヵ年平均	1,521	273	227	241	335	
	25年見通し	1,500	265	230	260	300	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		主な産地は長野、北海道、岩手。夏秋産地は8月中旬がピークとなる。後半以降は成り疲れから、減少傾向となる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ね	20年	4,428	274	221	288	306	茨城 41%	
	21年	4,401	308	310	393	247	青森 20%	
	22年	4,172	285	281	333	252	北海道 7%	
	23年	4,032	296	227	318	341	秋田 6%	
	24年	4,312	207	190	259	186	(愛知産比率 -%)	
	5ヵ年平均	4,269	274	246	318	266	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
ぎ	25年見通し	4,100	290	290	290	290		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		茨城、青森からの入荷が中心となる。茨城は干ばつの影響は解消されず細物比率の高い状態が続いている。青森は当初の遅れも回復し平年作となっている。北海道も平年作の見込み。入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。						
し た ス	20年	8,245	141	120	139	161	長野 84%	
	21年	7,802	229	183	274	240	群馬 12%	
	22年	8,442	221	210	220	231	岩手 2%	
	23年	8,802	183	119	188	251	北海道 1%	
	24年	9,774	120	123	123	115	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	8,613	176	151	189	200	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
ス	25年見通し	8,800	140	140	140	140		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		長野からの入荷が中心となる。長野の生育は地域による作況に差異がみられ、出荷量は今後の天候にもよるが平年作となる見込み。群馬についても干ばつ気味にきているが平年作。入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。						
き ゆ う り	20年	7,750	237	168	176	408	福島 43%	
	21年	7,847	289	266	298	301	岩手 21%	
	22年	8,052	252	186	253	308	秋田 12%	
	23年	8,254	231	202	157	353	宮城 5%	
	24年	9,301	178	165	163	201	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	8,241	235	197	209	314	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
り	25年見通し	8,800	230	240	230	220		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		東北産地からの入荷が中心。各産地ともこのところの曇雨天続きの天候により出荷量は伸びていないが、着果量に不足はなく今後の天候次第で8月は増加してくる見込み。 全体の入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬	(愛知産比率)	
な す	20年	1,123	204	205	166	257	愛知 26%
	21年	1,092	269	266	270	268	山梨 23%
	22年	1,210	235	257	253	211	徳島 18%
	23年	1,226	258	334	238	212	群馬 10%
	24年	1,151	182	201	218	252	
	5ヵ年平均	1,160	230	254	229	239	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,200	225	200	250	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は愛知、山梨、徳島、群馬。夏秋産地は作柄良好、天候による被害もなく、生育は順調。 入荷量は前年をやや上回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。							
ト マ ト	20年	1,735	216	193	191	272	岐阜 55%
	21年	1,647	342	193	312	419	北海道 21%
	22年	1,585	344	290	322	466	長野 6%
	23年	1,677	364	384	336	388	愛知 6%
	24年	1,773	287	291	250	320	
	5ヵ年平均	1,683	309	270	281	371	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,700	325	350	300	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は岐阜、北海道。夏秋型トマトは、岐阜（高山）が産地の中心である。生育は若干遅れているものの、まずまず順調。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
ミ ニ ト マ ト	20年	310	411	360	349	520	北海道 78%
	21年	337	570	546	528	626	長野 9%
	22年	353	613	559	535	719	山形 5%
	23年	370	705	719	699	709	愛知 4%
	24年	451	428	493	348	453	
	5ヵ年平均	364	543	539	489	600	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	380	550	500	500	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主力は北海道。一部長野。北海道は生育が1週間程度遅れているものの、順調である。ただし、猛暑になると品質の劣化が心配される。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
なす	20年	5,122	208	192	157	291	栃木 30%
	21年	5,025	271	277	282	257	群馬 27%
	22年	5,451	219	245	219	181	茨城 23%
	23年	4,970	265	357	202	249	埼玉 8%
	24年	5,522	173	185	180	157	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	5,218	226	251	208	227	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	5,400	230	250	230	210	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。関東の各産地とも着果量に不足はないが、低温での推移により現況、出荷量は伸びていない。今後、気温の上昇で増量が見込まれるものの、干ばつ傾向であれば下等級の発生も多くなる。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
トマト	20年	9,232	227	214	188	295	青森 25%
	21年	9,003	317	296	294	363	福島 15%
	22年	8,832	336	287	306	410	北海道 14%
	23年	9,145	356	402	293	390	群馬 11%
	24年	11,413	245	232	222	274	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	9,525	293	286	261	346	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	9,500	300	300	300	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北産地からの入荷が中心となる。東北の各産地とも低温と曇天続きで現況、出荷量は伸びていない。今後も回復のスピードはゆっくり。北海道、群馬は前年並の出荷量が期待できる。入荷量は潤沢な入荷であった前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ミニ トマト	20年	1,194	405	384	372	460	北海道 27%
	21年	1,064	580	556	587	597	岩手 17%
	22年	1,038	623	551	607	702	福島 16%
	23年	1,074	707	718	729	677	青森 12%
	24年	1,512	425	441	351	465	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	1,176	535	530	529	580	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,150	550	550	550	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岩手、福島に加え北海道からの入荷が増えてくる。トマト同様、各産地とも遅れ気味できており、北海道も春先の寒さによる遅れを取り戻せず遅れ気味だが8月にはいと量がまとまってくる見込み。入荷量は多かった前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	20年	549	244	222	245	259	岩手 47%
	21年	477	349	358	373	327	北海道 36%
	22年	496	334	346	315	339	長野 8%
	23年	525	291	442	291	255	青森 6%
	24年	470	245	304	266	219	
マン	5カ年平均	503	292	333	297	279	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	500	300	320	300	280	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>主な産地は岩手、北海道。8月上旬は各産地とも出荷量が少なくなる見通しで、盆前の引き合いが強く、価格が上昇する見込みであるが、その後は下がりそう。 入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	20年	2,860	95	90	98	95	北海道 62%
	21年	2,295	178	238	194	129	青森 32%
	22年	2,431	136	120	134	149	静岡 4%
	23年	1,814	107	103	105	110	愛知 1%
	24年	2,019	89	85	90	94	
いしょ	5カ年平均	2,284	121	127	125	116	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,000	125	130	130	120	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>主な産地は北海道、青森。上旬は青森が中心となり、お盆前に北海道からの入荷が始まる。両産地とも、低温と干ばつのため、生育は遅れ気味であり、小玉傾向である。 入荷量は前年並みで、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	20年	5,430	67	58	65	74	北海道 49%
	21年	4,127	130	133	149	118	兵庫 39%
	22年	4,638	95	102	95	90	中国 5%
	23年	4,515	74	79	73	73	アメリカ 3%
	24年	3,430	122	134	132	112	
ねぎ	5カ年平均	4,428	95	97	99	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,500	85	90	80	80	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>主な産地は兵庫、北海道。北海道は5月の雨不足と6月の降雨等の影響で10日から1週間程度生育は遅れ気味。今後も天候に左右されるが、ピークは中旬以降になる見込み。 入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	20年	2,139	203	179	207	219	岩手 49%
	21年	2,027	320	330	359	284	青森 16%
	22年	2,009	310	319	311	301	茨城 15%
	23年	2,090	245	354	218	176	福島 15%
	24年	2,167	187	275	172	144	(愛知産比率 0%)
マン	5ヵ年平均	2,086	251	291	253	225	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,050	270	270	270	270	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>岩手、茨城、青森からの入荷が中心。岩手を中心とした東北産は作付減に加え、このところの曇雨天で出荷が停滞している。茨城は終盤であるが、相場が安定していることもあり最後まで積極出荷の見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	20年	5,833	103	100	105	103	北海道 66%
	21年	5,619	179	226	200	136	茨城 12%
	22年	5,694	149	137	148	158	青森 6%
	23年	5,566	107	93	105	119	千葉 6%
	24年	5,589	93	82	95	98	(愛知産比率 0%)
いしょ	5ヵ年平均	5,660	126	130	130	123	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	5,300	130	140	130	120	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道からの入荷が中心。北海道は定植遅れと低温干ばつの影響により、出始めの物を中心に小玉傾向が続く。8月中旬以降増量の見込み。その他産地も前年並の出荷となる見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	20年	11,236	78	71	80	83	北海道 49%
	21年	9,205	141	140	151	136	兵庫 24%
	22年	9,923	110	114	113	105	佐賀 9%
	23年	9,792	82	84	84	79	中国 8%
	24年	8,450	130	141	130	123	(愛知産比率 0%)
ねぎ	5ヵ年平均	9,721	106	110	110	105	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	10,000	90	90	90	90	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>佐賀、兵庫、北海道からの入荷が中心。佐賀は収穫も終了している。貯蔵量は昨年の2割り増し。兵庫も潤沢な量がある。北海道は下旬から本格化、現況、低温干ばつ等の影響を受けた産地もあるが平年作の見込み。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

「その他メロン」は「アールスメロン」以外のメロンをいう。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	20年	13,660	330	361	335	286	フィリピン 20%
	21年	12,670	319	340	297	312	愛知 17%
	22年	11,902	346	340	358	343	山梨 7%
	23年	11,989	321	338	316	305	石川 7%
	24年	11,605	342	357	328	341	
	5カ年平均	12,365	331	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	11,300	330	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、山梨、石川中心に入荷する。りんご、なし、もも、いちじく等は前倒しの出荷が想定される。いちじくは、害虫被害が心配。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
アールスメロン	20年	383	529	548	526	478	愛知 51%
	21年	334	474	460	473	525	静岡 32%
	22年	341	503	469	569	490	青森 7%
	23年	340	500	-	-	-	茨城 6%
	24年	286	514	-	-	-	
	5カ年平均	337	504	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	280	500	800	700	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、静岡。8月中旬(旧盆)がピークとなる見通し。 入荷量・価格とも前年をわずかに下回る見込み。</p>					
すいか	20年	2,635	160	193	168	69	山形 45%
	21年	2,390	119	117	116	131	長野 32%
	22年	2,594	174	177	161	187	秋田 12%
	23年	2,688	130	148	137	103	青森 7%
	24年	2,790	151	161	153	149	
	5カ年平均	2,619	147	160	148	128	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,700	150	150	150	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は秋田、山形。7月はすいかにとって良い天候となり、痛みも少なく値崩れもなかった。8月は大雨の影響が心配される。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	20年	44,671	312	337	328	265	山形 20%
	21年	45,955	293	310	285	283	山梨 11%
	22年	41,208	342	322	355	354	フィリピン 9%
	23年	44,246	298	319	294	275	長野 8%
	24年	41,317	337	336	337	338	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	43,479	316	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	40,500	350	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量				単価 円/kg
なし、もも、ぶどう中心に入荷。ももは福島、山梨中心。やや不作の年で盆前に品薄になる恐れもある。なしは関東産地で梅雨明けが早く前進しており上旬がピーク、盆明けの豊水が始まるまで品薄感が予想。前年に比べ入荷量は前年並み、価格はやや上回る見込み。							
ア ー ル ス メ ロ ン	20年	770	491	601	510	362	静岡 38%
	21年	715	459	476	442	456	茨城 24%
	22年	775	450	438	530	399	青森 14%
	23年	706	483	531	464	415	山形 8%
	24年	633	502	472	658	460	(愛知産比率 9%)
	5カ年平均	720	476	505	518	416	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	650	550	650	500	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量				単価 円/kg
静岡、茨城中心に青森、愛知から入荷する。作付面積は静岡、茨城、愛知ともに減少している。各産地ともに、天候に恵まれ品質は良好である。肥大も良く大玉傾向。桃や梨の状況が良くないことから入荷量は前年をやや上回り、さらに価格も前年をかなり上回ると見込まれる。							
す い か	20年	10,881	161	184	168	88	山形 49%
	21年	10,813	120	115	115	138	秋田 13%
	22年	10,709	178	169	175	211	長野 12%
	23年	10,589	137	140	143	117	青森 7%
	24年	11,830	155	157	147	158	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	10,964	150	153	150	143	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	11,600	155	155	150	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量				単価 円/kg
山形を中心に長野、秋田などから入荷する。山形は平年並みの生育で上旬がピーク、盆明けには減ってくる。中心サイズは3L、2L。長野は好天により品質良好。ピークを過ぎ8月は減少してくる。秋田はスタートが遅れたものの平年並みの生育。全体の入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並みの見込み。							

切花・鉢花の8月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 7月27日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	20年	3,442	64	
		21年	3,395	53	
		22年	2,821	60	
		23年	3,003	51	
		24年	2,375	65	
	5ヶ年平均		3,007	58	
	25年見通し		2,400	60	
概要	<p>愛知、長野、三重等から入荷。白系の主力品種が精の一世代になったことから、MS等級の発生率が低い上、色物の主体の長野産露地物も前進傾向で、盆直前は品薄感がある。そのため、盆需要で高騰が予想されるが、反動で盆明けは出荷量によっては厳しい展開がありうる。</p>				
小 ぎ	実 績	20年	2,822	37	
		21年	2,625	36	
		22年	2,989	40	
		23年	3,309	31	
		24年	2,602	35	
	5ヶ年平均		2,869	36	
	25年見通し		2,600	35	
概要	<p>愛知、長野、埼玉、奈良等から入荷。前進傾向から7月末から8月上旬にかけ、出荷ピークを迎える。盆直前には入荷量も減少し、軟調な相場展開から一気に高騰することが予想される。切上がりが早ければ、盆明けの残りも少なく、堅調に展開すると思われる。</p>				
カー ネー ション	実 績	20年	1,105	43	
		21年	1,092	45	
		22年	1,294	43	
		23年	1,375	40	
		24年	1,411	38	
	5ヶ年平均		1,255	42	
	25年見通し		1,400	40	
概要	<p>長野を中心に北海道等から入荷。今年も昨年同様に長野の各産地が一番花の集中出荷をずらす作型を取っており、北海道は遅れ気味に推移している。また、円安により輸入物の入荷は少なく、6、7月は例年になく高水準での取引となった。現状、極端な出荷の集中もなく、8月についても安定した販売が続くそう。</p>				
か す み 草	実 績	20年	113	98	
		21年	92	117	
		22年	66	110	
		23年	73	115	
		24年	118	85	
	5ヶ年平均		92	103	
	25年見通し		110	100	
概要	<p>長野、福島、北海道からの入荷。数量は一年を通して少ない月に当たるが、一般需要は少なく、業務中心の販売となる。価格の高値は出にくい、前年並みの動きとなりそう。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
鉢	実績	20年	492	142	
		21年	486	145	
		22年	514	149	
		23年	546	149	
		24年	549	137	
	5ヶ年平均	517	144		
	25年見通し	550	135		
概要	<p>オリエンタルは新潟、岐阜、北海道から、LAは埼玉、新潟、鉄砲は兵庫、愛媛、長野から入荷。生育はやや前進気味で、8/6からの販売は鉄砲は数量的にありそうだが、LA、オリエンタルは減少しそう。価格も連動し、8月当初は苦しい展開も相場は一気に上昇することも考えられる。</p>				
洋	実績	20年	393	85	
		21年	441	75	
		22年	489	77	
		23年	484	83	
		24年	464	88	
	5ヶ年平均	454	82		
	25年見通し	460	82		
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡、輸入等から入荷。盆需要により引き合いが強くなるが、7月同様品質による価格差は大きい。輸入品は最近の円安で若干セリ分に回る物が少なく、堅調な販売となると思われる。</p>				
ば	実績	20年	644	53	
		21年	798	50	
		22年	686	51	
		23年	696	54	
		24年	736	50	
	5ヶ年平均	712	52		
	25年見通し	750	50		
概要	<p>青森、愛知、岐阜、長野、山形、和歌山、九州から入荷。お盆明けからは伊勢の出荷も再開する。愛知、岐阜、和歌山産は夜冷の効果が出て、品質差が大きくなる。</p>				
枝	実績	20年	1,695	57	
		21年	1,756	56	
		22年	2,039	61	
		23年	2,440	57	
		24年	2,265	57	
	5ヶ年平均	2,039	58		
	25年見通し	2,300	57		
概要	<p>長野、静岡、福岡からお盆商材の法月が入荷。猛暑による影響があれば、法月の引合いは強くなる。その他のお盆花材の引合いは堅調。後半は稽古も休みがちとなり、引合いは弱そうだ。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	20年	14,124	973	
		21年	16,684	963	
		22年	11,418	1,331	
		23年	17,425	908	
		24年	14,987	913	
	5ヶ年平均		14,928	998	
	25年見通し		14,000	929	
概要	<p>入荷量は6号中心となり昨年並みか。中元シーズンが始まり、6～10号中心の出荷を予想。単価は厳しくなると思われる。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(96.9%)、2位静岡県(1.6%)、3位三重県(1.2%)となっている。</p>				
シ ヤ コ バ サ ボ テ ン	実 績	20年	4,464	526	
		21年	13,643	373	
		22年	8,456	345	
		23年	7,665	353	
		24年	9,362	317	
	5ヶ年平均		8,718	368	
	25年見通し		8,500	330	
概要	<p>入荷量はやや減少か。埼玉、茨城の山上げをした5号を中心に出荷があると思われる。愛知県産のクーラー物も入荷がある。注文が多い5号は競売率は少ないと思われるが、入荷数量にも影響すると思われる。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位埼玉県(84.4%)、2位愛知県(11.1%)、3位茨城県(4.5%)となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	20年	1,942	159	
		21年	3,973	177	
		22年	4,575	124	
		23年	4,831	117	
		24年	5,883	145	
	5ヶ年平均		4,241	141	
	25年見通し		5,500	145	
概要	<p>入荷量は減少か。花色、花もち共に悪いため、販売はかなり厳しい。 昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(33.3%)、2位岐阜県(31.7%)、3位山口県(20.5%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
オ ン ジ ュ ー ム	実 績	20年	4,000	820	
		21年	5,963	779	
		22年	3,607	842	
		23年	3,400	800	
		24年	3,263	813	
		5ヶ年平均	4,047	807	
	25年見通し	3,000	800		
概要	<p>入荷量はやや減少か。理由として生産減と共に重油高騰のため、春先の温度が足りないなどが考えられる。単価面は例年と同様か若干厳しい予想。昨年同様、出荷時はつぼみ多目の固い物での出荷を心がけて頂きたい。</p> <p>昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(58.4%)、2位長崎県(15.8%)、3位高知県(7.1%)となっている。</p>				
ス パ テ ィ ー フ ィ ー	実 績	20年	13,254	208	
		21年	4,921	284	
		22年	7,156	268	
		23年	7,081	235	
		24年	10,885	185	
		5ヶ年平均	8,659	225	
	25年見通し	10,000	200		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。年々小鉢化の傾向にある。単価面では猛暑が予想されるため、厳しいのでは。</p> <p>昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位三重県(69.7%)、2位愛知県(26.5%)、3位岐阜県(3.8%)となっている。</p>				
ド ラ セ ナ 類	実 績	20年	23,724	625	
		21年	28,646	522	
		22年	19,019	650	
		23年	24,649	603	
		24年	24,660	675	
		5ヶ年平均	24,140	610	
	25年見通し	24,000	625		
概要	<p>入荷量は昨年並みか。サイズは小鉢を中心に4~6号がメイン。大鉢は厳しそう。主要品目は定番のユッカ、マッサンがメインとなり昨年頃からドラセナ、ジュレも増えてきた。</p> <p>昨年8月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(69.7%)、2位鹿児島県(8.8%)、3位沖縄県(6.8%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績 (2013年)

1 輸入実績

品名	5月						5月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	60,687	78	7,657,463	104	126	133	347,911	79	41,393,632	104	119	131
トマト	551	136	209,830	154	381	113	2,594	143	1,022,214	162	394	113
たまねぎ	17,267	62	1,415,189	125	82	202	97,608	64	7,324,644	134	75	210
にんにく	1,533	88	348,980	166	228	188	7,185	84	1,535,086	162	214	192
ねぎ	4,212	107	494,013	97	117	90	21,292	99	2,381,969	89	112	90
ブロッコリー	4,330	86	778,303	113	180	132	16,231	70	2,989,993	89	184	127
結球キャベツ	2,109	60	89,899	55	43	92	16,321	59	642,822	62	39	105
にんじん・かぶ	6,200	86	358,706	82	58	95	34,456	160	1,912,506	104	56	65
ごぼう	2,917	96	141,138	72	48	75	15,552	80	743,040	68	48	85
えんどう	193	66	71,050	73	367	109	1,068	70	375,252	66	351	95
アスパラガス	573	87	433,747	119	757	137	6,489	64	3,604,037	83	555	131
まつたけ	-	-	-	-	-	-	2	-	4,797	-	2,866	-
しいたけ	120	58	50,693	92	421	157	1,824	77	605,426	75	332	98
かぼちゃ	14,384	86	1,306,914	104	91	121	79,390	89	5,935,716	104	75	117
果実(生鮮・乾燥)	183,337	98	31,697,834	123	173	125	768,372	93	108,929,679	115	142	124
バナナ	101,859	94	9,512,732	123	93	131	408,625	89	32,876,650	111	80	124
パイナップル	17,260	98	1,142,711	107	66	109	73,707	108	4,335,483	109	59	101
レモン	5,520	128	862,548	159	156	124	19,517	99	2,650,227	118	136	119
オレンジ	5,016	63	595,878	74	119	118	50,454	83	5,546,046	96	110	116
グレープフルーツ	8,582	158	953,308	197	111	125	60,663	77	6,956,227	94	115	123
メロン	5,001	115	541,680	116	108	101	17,920	142	1,912,423	131	107	93
ぶどう	2,977	91	667,662	127	224	140	11,809	96	2,636,964	111	223	115
キウイ	11,774	110	3,953,914	104	336	94	20,999	104	6,821,703	98	325	94
いちご	21	51	21,858	71	1,060	140	55	55	54,287	73	981	134
切花(生鮮・乾燥)	3,013	95	2,600,595	104	863	109	18,284	100	14,458,182	105	791	105
鳥獣肉類	173,098	105	83,555,183	119	483	114	731,953	100	342,411,883	108	468	108
牛肉(くず肉含む)	55,660	132	28,913,105	157	519	119	207,156	107	103,726,896	127	501	119
豚肉(くず肉含む)	66,008	91	34,806,952	91	527	101	307,625	95	161,977,813	95	527	100
鶏肉	40,254	94	11,582,778	134	288	142	177,402	98	47,747,142	110	269	112
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	153,355	93	94,268,325	98	615	106	714,646	91	408,311,866	92	571	102
まぐろ類	17,715	89	13,827,844	87	781	97	90,142	97	76,344,520	93	847	96
さば・さんま・あじ・いわし	3,630	151	755,072	147	208	97	32,637	75	5,872,416	74	180	99

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	234	272	143,745	197	614	73	7,963	382	2,992,966	267	376	70
うんしゅうみかん	8	412	8,764	324	1,113	79	151	131	80,426	116	534	89
りんご	179	262	66,619	191	372	73	7,483	414	2,518,772	313	337	76
なし	-	-	-	-	-	-	18	176	9,005	192	507	109
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	238,823	144	-	-	-	-	1,075,032	110	-	-
緑茶	245	139	538,307	157	2,196	112	1,071	125	2,431,740	131	2,271	104

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 1月	99.3	105.4	112.6	98.3	101.0
	2月	99.2	95.8	106.1	98.5	99.0
	3月	99.4	90.2	104.2	98.2	99.5
	4月	99.7	90.7	100.7	98.3	100.3
	5月	99.8	87.1	104.4	98.5	99.5
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 1月	99.0	106.2	118.5	98.5	100.0
	2月	98.8	96.5	107.8	98.6	98.4
	3月	99.1	89.7	108.9	99.0	100.4
	4月	99.6	91.2	105.1	97.2	103.7
	5月	99.7	88.3	107.3	97.0	101.5

項目 年月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 1月	110.5	114.2	124.9	108.3	101.2
	2月	104.1	114.3	101.5	109.4	102.0
	3月	100.9	114.1	92.8	100.0	103.3
	4月	100.7	114.7	91.8	98.8	104.2
	5月	99.5	114.1	82.2	103.3	105.6

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、 「コシ加」 以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均	2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年 1月	2,191	149	155	684	802	273	156	314	208	765	693	211	476
2月	2,151	147	169	559	729	296	159	327	211	564	595	173	449
3月	2,158	146	170	525	458	272	144	362	199	447	703	167	466
4月	2,167	143	183	504	469	278	133	401	209	463	634	150	475
5月	2,167	165	173	626	329	290	132	355	211	378	504	147	499
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
24年平均	582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年 1月	630	329	370	187	209	755	531	154	175	314	217	824	378
2月	564	325	347	158	209	800	520	147	173	308	218	864	383
3月	571	314	350	156	222	801	514	155	174	327	213	844	407
4月		287	333	143	238	728	531	156	163	319	211	790	420
5月		308	372	149	223	719	559	170	166	311	214	753	399

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 482
平成25年8月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421